

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第36号

第49週(12月3日～12月9日)

発行年月日:平成13年(2001年)12月17日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (49週)	累積報告数 (1週～49週)	平成12年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	9
	腸チフス	0	0	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	44	40
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5	1
	急性ウイルス性肝炎	0	2	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	1	5	1
	ジアルジア症	0	1	0
	デング熱	0	0	1
	梅毒	0	6	11
	レジオネラ症	0	1	2

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	49週	増減	43～48週の平均
インフルエンザ	0.11		0.03
咽頭結膜熱	0		0
A群溶連菌咽頭炎	0.65		0.32
感染性胃腸炎	4.13		1.71
水痘	0.85		0.60
手足口病	0.46		0.44
伝染性紅斑	0.50		0.22
突発性発疹	0.17		0.26
百日咳	0		0
風疹	0.02		0.02
ヘルパンギーナ	0		0.02
麻疹	0.08		0.01
流行性耳下腺炎	0.48		0.66
急性出血性結膜炎	0.14		0
流行性角結膜炎	0.14		0.43
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0		0.09
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.83
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、43週～48週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

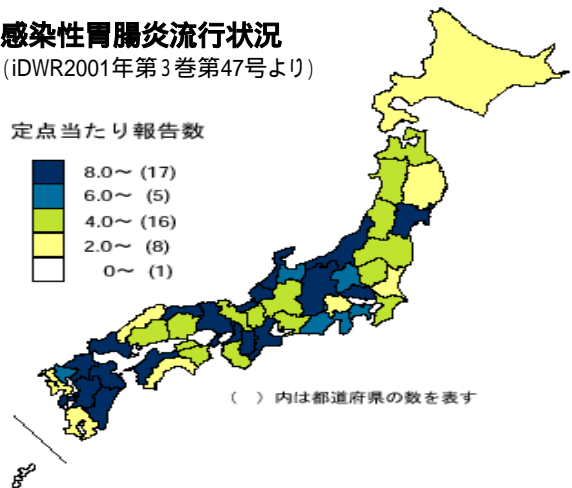
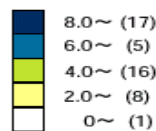
患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、43～48週の平均と49週を比較すると、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、麻疹、急性出血性結膜炎に増加傾向が見られます。滋賀県のマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、3週間連続して増加していましたが、今週の定点当たり報告数は0.29に減少しました。また、感染性胃腸炎は全国的にも増加しており、熊本県、福岡県、宮崎県、山口県、三重県、愛媛県、兵庫県、大分県、奈良県で定点当たり報告数が多くなっています。

感染性胃腸炎流行状況

(iDWR2001年第3巻第47号より)

定点当たり報告数



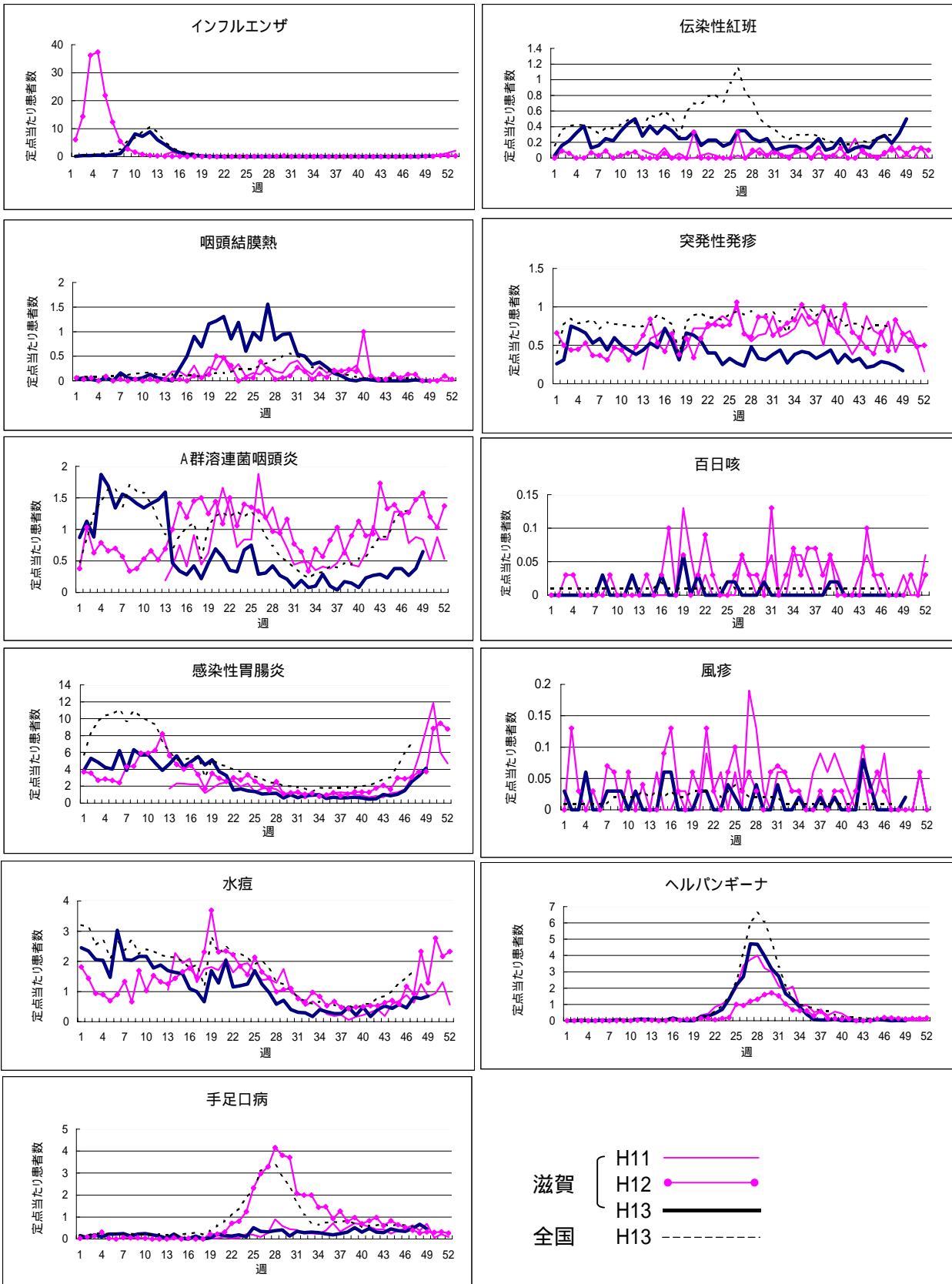
() 内は都道府県の数を表す



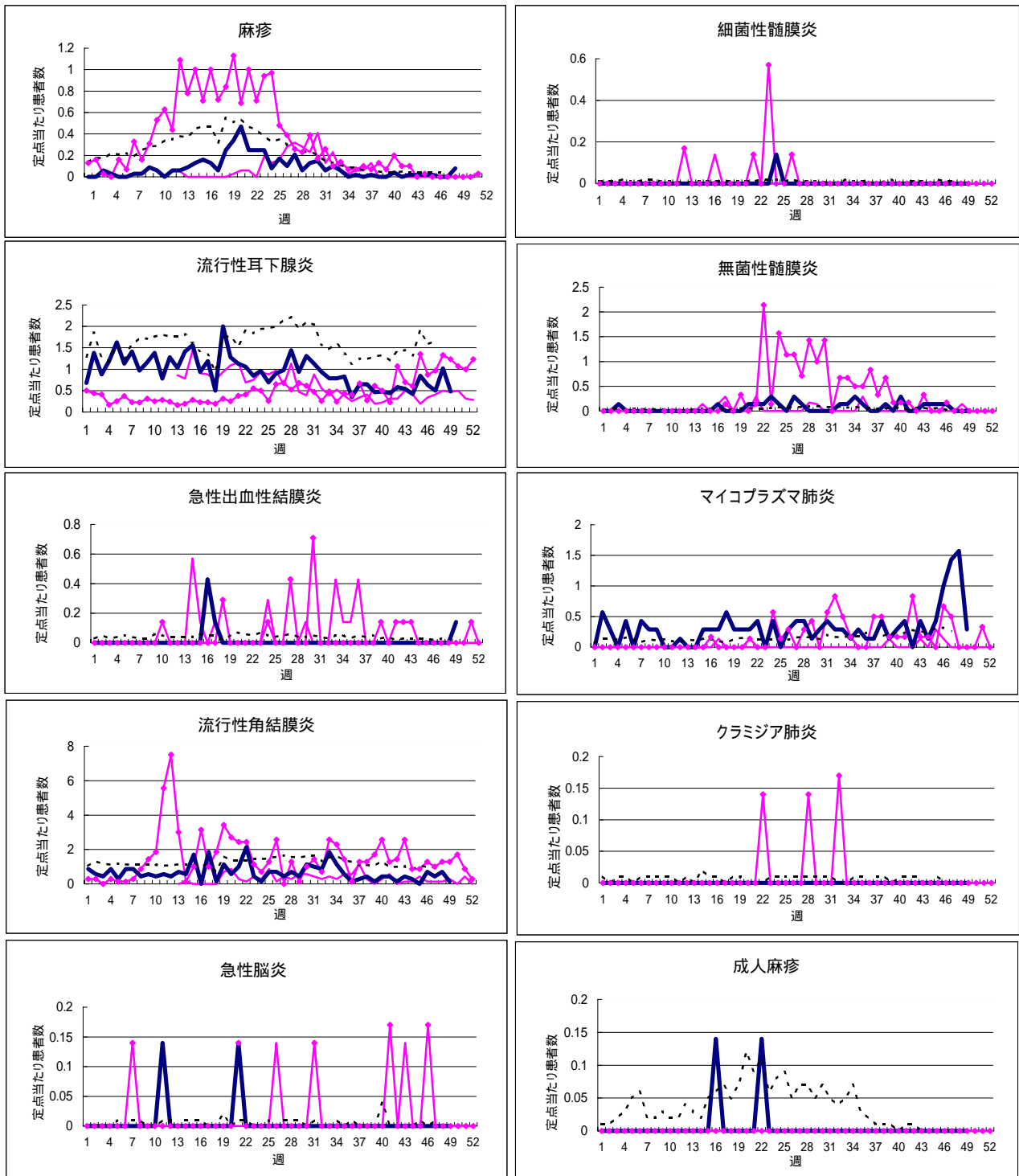
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第49週)



疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第49週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -